



VII 学習環境整備事業の概要

VII 学習環境整備事業の概要

市民の学習活動の拠点となる市民館等の基盤整備を行なった。

1 教育文化会館・市民館運営審議会

1987（昭和 62）年度まで 1 審議会で全市的な視点による諮問事項について審議してきたが、1988（昭和 63）年度から各館別に 7 審議会（1 館 10 名以内の委員を委嘱）が発足した。2011（平成 23）年度も、それぞれの審議会が地域の諸問題にふれ、住民の学習要求に即応した活動及び運営がさらに豊かになることをねらいに開催した（任期 2 年の 2 年目・年 4 回開催）。

なお、2001（平成 13）年度からは市民の参画を進めるために、各館の運営審議会に 1 名ずつ公募委員の枠が設けられた。公募にあたっては、市政だよりでの一斉広報だけでなく、各館だより、チラシなどでの広報を行っている

2 刊行・広報活動

市民館等の事業を市民に広報することは、単に参加者の募集のためだけでなく、市民館活動への理解を深め、生涯学習・社会教育に対する認知を広げる意味も大きい。教文だより、市民館だより、ホームページ、ポスターやチラシ、事業ごとの文集など、さまざまな媒体を活用している。

3 職員研修

市民の学習と活動を支援する職員の力量を形成し、施設としての機能と専門性を高めるため、教育委員会人材育成計画に基づき、職員研修を実施している。地域・市民のニーズを把握し、事業を企画・立案・実践する力、学びの機会や課題解決をさぐる方法を市民とともに考える力など、社会教育施設の職員として必要な能力をつけるとともに、新たな課題への対応を図るため、2011（平成 23）年度も 9 コースの研修を実施した。

4 16 ミリ映写機操作技術講習会

2011（平成 23）年度は幸市民館、宮前市民館、多摩市民館で実施した。

5 視聴覚ライブラリー事業

市民館等で視聴覚ライブラリー機材・教材の貸出し事業を行った。

Ⅶ 1 教育文化会館・市民館運営審議会

(◎は会長、○は副会長)

館名	氏名	所属	区分	諮問・研究課題	開催月日
教育文化会館	◎ ○	渡邊 和好	1	世代間交流のあり方について	6・ 9
		米山 実	2		9・ 15
		村社 一夫	2		
		秦 琢二	2		
		堀切 義昭	2		
青木 恵美子	2	12・ 8			
内田 敬一	3	3・ 15			
中村 香	4				
幸市民館	◎ ○	榊原 誠	1	地域とつながる市民館・分館とは	6・ 24
		山中 弘美	2		9・ 30
		中村 和子	2		
		斉藤 敦子	2		
		島田 和代	3		
志村 雄治	4	12・ 16			
中島 由貴	4	3・ 22			
片岡 了	4				
中原市民館	◎ ○	高島 厚子	2	①新しい中原市民館の施設を維持していくために ②大型集合住宅への広報・情報発信について	6・ 17
		小笠原 茂春	2		9・ 16
		渡邊 茂	1		
		大下 由美子	2		
		高田 昌子	3		
原 庚三	2	12・ 14			
二村 修	2	3・ 14			
渡辺 敏夫	2				
高津市民館	◎ ○	鈴木 輝雄	3	高津区における総合的な生涯学習の推進について	6・ 17
		小倉 敬子	4		9・ 10
		小田川 弘文	1		
		平古場 博子	2		
		金 俊一郎	2		
下山 宏一	2	12・ 16			
田村 富彦	2	3・ 16			
鈴木 悦子	4				
宮前市民館	◎ ○	川西 和子	4	『世代間交流(若者の地域活動への参画)』について	4・ 28
		新村 富喜子	1		9・ 5
		東出 ゆかり	2		
		島崎 蓉子	2		
		中村 布佐子	2		
遠藤 良治	2	12・ 12			
工藤 正興	2	3・ 27			
近藤 桃子	3				
多摩市民館	◎ ○	末吉 一夫	2	前回の運営審議会提言「愛される市民館とは」についての検証	6・ 30
		吉田 紀代子	2		9・ 15
		須田 泰弘	1		
		米田 信一	2		
		上村 知子	2		
古閑 道也	2	12・ 15			
中田 香織	3	3・ 14			
小林 繁	4				
麻生市民館	◎ ○	清水 正己	3	市民ニーズの多様化と麻生市民館の役割	6・ 21
		岩本 陽児	4		9・ 27
		山下 忠徳	1		
		橋本 周	2		
		宮崎 瑞穂	2		
久保倉 清	2	12・ 6			
本玉 秀夫	2	3・ 13			
神本 一枝	3				

※区分 1:区内に設置された学校の長 2:区内の社会教育団体から推薦された者 3:区内在住の社会教育に関する経験を有する市民 4:学識経験者(川崎市市民館条例第21条第4項、川崎市教育文化会館条例第21条第4項による。)

Ⅶ 2 刊行・広報活動

教育文化会館だより・市民館だよりの発行一覧

教文	教育文化会館だより	年 7 回	各回	9,500 部※特別号 1,000 部を別途発行
大師	プラザ大師インフォメーション	年 7 回	各回	9,500 部 (教文だよりに併載)
田島	プラザ田島だより	年 7 回	各回	9,500 部 (教文だよりに併載)
幸	幸市民館だより	年 6 回	各回	7,000 部 ※市民自主特別号 1,000 部を別途発行
日吉	日吉分館だより	年 6 回	各回	7,000 部 (幸市民館だよりに併載)
中原	中原市民館だより	年 6 回	各回	10,000 部
高津	高津市民館だより	年 6 回	各回	9,000 部
橘	プラザ橘だより	年 5 回	各回	3,500 部
宮前	宮前市民館だより	年 7 回	各回	8,500 部
菅生	菅生分館だより	年 7 回	各回	3,000 部
多摩	多摩市民館だより	年 6 回	各回	7,600 部
麻生	麻生市民館だより	年 6 回	各回	8,000 部
岡上	岡上分館だより	年 6 回	各回	8,000 部 (麻生市民館だよりに併載)

Ⅶ 3 職員研修

研修名	対象	回数	趣旨
社会教育 初任者研修	社会教育・行政職員（新任・未経験）	6	社会教育初任者として必要な基本的知識や実践的能力を養う
	内容		延べ人数 95人
①研修概要／社会教育・生涯学習とは？ ②川崎の生涯学習・社会教育の目指すもの ③好感をもたれる市民対応とは？ ④社会教育職員の仕事～市民に期待される役割を探る～ ⑤川崎市の人権施策と職員の役割（人権尊重研修と合同） ⑥社会教育施設の役割と取り組み			
指導・経営研修	社会教育・行政職員（主任～課長・施設長）	1	職場集団をまとめ、指導、補佐する職員や施設を運営する職員として必要な能力を養う
	内容		延べ人数 18人
①東日本大震災と社会教育～被災地の施設の状況とその役割～（課題研修と合同）			
生涯学習研修	社会教育・行政職員、学校教職員、市民	3	社会教育施設職員として必要な生涯学習・学者融合に関する基本的な知識や実践的な能力を養う
	内容		延べ人数 82人
①行政職員・市民のための生涯学習入門 ②協働時代の生涯学習 ③市民協働によるまちづくりと生涯学習～分権時代の市民力・行政力を考える～			
人権尊重研修	社会教育・行政職員、学校教職員、市民	1	教育職員として不可欠な人権に関する知識や感性を獲得し、基本的・実践的能力を養う
	内容		延べ人数 13人
①川崎市の人権施策と職員の役割（初任者研修と合同）			
課題研修	社会教育・行政職員、学校教職員、市民	7	社会教育における様々な課題についての問題意識・専門性を高めることを目的とする
	内容		延べ人数 39人
①公民館の事業とその評価～福生市公民館の事例に学ぶ～ ②東日本大震災と社会教育～被災地の施設の状況とその役割～（指導経営研修と合同） ③Nobody's Perfect 体験ワークショップ ④参画力を育むプログラムデザイン ⑤川崎市立図書館の活動の現状とこれからのを考える（図書館研修と合同） ⑥学習情報提供・学習相談事業のあり方 ⑦図書館職員に求められるもの（図書館研修と合同）			
自主グループ 研修	社会教育（全施設）・行政職員	35	社会教育職員が、その専門的能力の向上を図るために、自ら研修を行うことを支援する
	内容		延べ人数 218人
A グループ：「市民館事業の空白を考える」 全12回 B グループ：「市民館の事業評価について」 全11回 C グループ：「映像企画～連携を通して学んだこと」 全12回			
施設別研修 （市民館）	市民館職員（新任・未経験）	7	市民館の役割や課題を理解し、基本的な業務に必要な実践的能力を養う
	内容		延べ人数 67人
①市民館事業ははじめの一步 ②市民館事業の基本①～生涯学習はなぜ必要か ③市民館事業の基本②～市民館の事業構成 ④市民館事業の基本③～プログラム編成の基本 ⑤プログラムの作成～グループ別作業 ⑥グループ別プログラム報告会 ⑦研修報告会での発表			

施設別研修 (図書館)	図書館職員・行政職員・学校図書館関係職員	7	図書館の基本的業務に必要な実践的能力を養う
	内容 ①図書館初任者研修～図書館のあり方とカウンター業務などの初歩を学ぶ ②児童サービス基礎研修 ③レファレンス研修① ④レファレンス研修② ⑤経理事務研修 ⑥全体研修～川崎市立図書館の活動の現状とこれからのを考える(課題研修と合同) ⑦図書館員に求められるもの		延べ人数 121人
施設別研修 (博物館)	博物館職員・行政職員・学校教職員	1	博物館の役割や今日の課題を学び、業務に必要な実践的能力を養う
	内容 ①これからの博物館に求められる役割とは		延べ人数 36人

※ 合同研修については、一方の研修のみに参加者数を計上した。

※ 各回の簡単な内容及び自主グループ研修の報告などは、「社会教育職員研修報告書」(平成24年3月刊、生涯学習推進課)を参照

Ⅶ 4 16 ミリ映写機操作技術講習会

会 場	開 催 日	参加者	内 容
幸 市 民 館	7月10日	13人	<ul style="list-style-type: none"> ・映写機の原理と構造及び利用方法 ・映写機の操作実習 ・映画フィルムの取扱い方法 ・視聴覚ライブラリーの利用方法
宮 前 市 民 館	6月5日	13人	
多 摩 市 民 館	6月26日	18人	

Ⅶ 5 視聴覚ライブラリー事業（機材一覧）

（視聴覚教材利用状況）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
教育文化会館	貸出本数	2	5	7	14	21	4	5	4	17	12	6	12	109
	利用人数	100	236	152	2,175	1,371	419	207	500	2,730	589	317	888	9,684
幸市民館	貸出本数	0	2	4	20	29	6	3	5	0	0	7	2	78
	利用人数	0	50	2,400	624	2,065	900	3	600	0	0	280	50	6,972
中原市民館	貸出本数	0	1	9	10	0	5	12	3	6	5	5	0	56
	利用人数	0	10	1,060	2,420	0	20	584	215	62	154	8	0	4,533
高津市民館	貸出本数	7	1	0	8	7	0	7	6	0	6	3	1	46
	利用人数	35	0	0	1,516	917	0	300	30	0	87	240	15	3,140
宮前市民館	貸出本数	2	3	9	15	0	0	3	2	6	0	2	1	43
	利用人数	16	30	528	7,840	0	0	400	370	180	0	460	100	9,924
多摩市民館	貸出本数	1	1	12	14	16	10	12	6	8	5	6	5	96
	利用人数	9	0	180	4,304	1,792	306	1,260	186	264	166	104	495	9,066
麻生市民館	貸出本数	0	0	4	5	0	4	2	0	8	1	15	6	45
	利用人数	0	0	984	1,000	0	12	7	0	56	5	5,302	650	8,016
総合教育センター	貸出本数	2	12	11	7	11	5	18	0	6	21	11	2	106
	利用人数	225	696	750	111	2,196	200	257	0	1,811	2,137	1,422	268	10,073
合計	貸出本数	14	25	56	93	84	34	62	26	51	50	55	29	579
	利用人数	385	1,022	6,054	19,990	8,341	1,857	3,018	1,901	5,103	3,138	8,133	2,466	61,408

視聴覚ライブラリー機材・教材貸出事業

○機材一覧

	暗幕	16ミリ映写機	スライド映写機	OHP	OHC	ビデオ・モニター	スクリーン	液晶ビデオ映写機※	ビデオ編集機	アンプ
教育文化会館	20	3	2	3	1	1(1)	0	4(2)	0	1
幸市民館	30	2	1	1	1	1	3	2(2)	0	0
中原市民館	10	1	1	1	1	1	3	2(2)	0	0
高津市民館	20	2	2	2	0	1	1	2(1)	1	1
宮前市民館	28	5	4	2	0	1	1	2(1)	1	1
多摩市民館	20	3	2	1	0	1	1	2(1)	1	0
麻生市民館	18	5	2	1	1	3	2	1(1)	0	1
総合教育センター	90	7	5	2	2	1	2	3(3)	0	1

() はパソコン対応

○団体別利用状況(2011(平成23)年4月～2012(平成24)年3月)

教材	団体		市教委						幼稚園 学 校						社会教育 関係団体						事業所								
	施 設	教文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生
暗 幕		0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	2	10	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
16 ミリ 映 写 機		0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ス ラ イ ド		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
O H P		15	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	16	1	0	0	1	0
ビ デ オ・ モ ニ タ ー		5	2	0	3	0	1	4	0	0	0	2	0	0	1	9	2	2	4	0	2	14	5	23	1	6	0	2	14
液 晶 ビ デ オ 映 写 機		34	17	2	46	1	46	76	1	2	0	12	0	4	5	15	9	8	13	0	4	63	90	37	17	60	0	10	23
ビ デ オ 編 集 機		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
そ の 他		0	14	1	5	0	55	0	0	4	0	1	0	4	0	0	7	11	0	0	4	0	0	9	16	4	0	22	0

教材	団体		自治会 町内会						官公署						その他						計						総 計			
	施 設	教文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教文	幸	中 原	高 津		宮 前	多 摩	麻 生
暗 幕		0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	0	0	7	0	0	15	5	0	0	7	0	14	38
16 ミリ 映 写 機		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	1	2	0	3	8	1	1	1	3	1	18
ス ラ イ ド		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	2	35	1	0	0	6	0	6	35	1	0	0	48
O H P		1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	13	1	3	2	0	1	0	35	17	5	2	0	3	9	69
ビ デ オ・ モ ニ タ ー		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	19	2	37	81	58	61	2	38	29	40	96	58	67	39	361	
液 晶 ビ デ オ 映 写 機		1	10	0	0	0	1	0	14	4	4	15	3	9	9	113	31	72	109	53	119	2	268	110	103	255	57	193	11	1,153
ビ デ オ 編 集 機		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	48	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	53	0	0	55
そ の 他		0	8	0	0	0	1	0	0	7	11	14	3	1	0	0	26	48	45	57	122	0	0	75	87	69	60	209	0	500



KAWASAKI CITY

川崎市

2011 (平成 23) 年度 活動報告書

2012 年 4 月 1 日発行

編集	川崎市教育文化会館	TEL 044-233-6361	FAX 044-244-2347
	川崎市幸市民館	TEL 044-541-3910	FAX 044-555-8224
	川崎市中原市民館	TEL 044-433-7773	FAX 044-430-0132
	川崎市高津市民館	TEL 044-814-7603	FAX 044-833-8175
	川崎市宮前市民館	TEL 044-888-3911	FAX 044-856-1436
	川崎市多摩市民館	TEL 044-935-3333	FAX 044-935-3398
	川崎市麻生市民館	TEL 044-951-1300	FAX 044-951-1650
	教育文化会館大師分館	TEL 044-266-3550	FAX 044-266-3554
	教育文化会館田島分館	TEL 044-333-9120	FAX 044-333-9770
	幸市民館日吉分館	TEL 044-587-1491	FAX 044-587-1494
	高津市民館橘分館	TEL 044-788-1531	FAX 044-788-5263
	宮前市民館菅生分館	TEL 044-977-4781	FAX 044-976-3450
	麻生市民館岡上分館	TEL 044-988-0268	FAX 044-986-0472
発行	川崎市教育委員会		
印刷	アサヒプリンティング	TEL 044-742-8812	FAX 044-742-8814



KAWASAKI CITY

川崎市